

会 議 名	第二回港区福祉総合窓口設置準備支援業務委託事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和2年7月7日（月） 会議開催通知及び資料送付 令和2年7月9日（水） 委員からの意思集約 令和2年7月10日（金） 結果通知
開 催 場 所	書面会議により開催
委 員	委員長 保健福祉支援部長 有賀 謙二 副委員長 赤坂地区総合支所区民課長 大原 裕美子 委 員 保健福祉支援部高齢者支援課長 金田 耕治郎 委 員 みなと保健所健康推進課長 二宮 博文 委 員 子ども家庭支援部子ども家庭支援センター所長 安達 佳子
事 務 局	保健福祉支援部保健福祉課
会 議 次 第	審議事項 （1）事務局審査基準について （2）第一次審査の採点及び結果について （3）各委員講評について （4）第二次審査票及びスケジュールについて
送 付 資 料	次 第 資料1 事務局審査基準（案） 資料2 応募事業者提案書（写） 資料3 第一次審査票 資料4 第一次審査通過事業者への通知文（案） 資料5 第二次審査票（案） 資料6 第二次審査スケジュール（案） 参考1 第一回選考委員会議事要旨 別 紙 意向確認書
会議の結果及び主要な意見	
1 事務局審査基準について	
委員長	資料1の事務局審査基準（案）について、意見はありますか。
C委員	資格要件の評価について、マネジメント能力に関する資格のうち更新期限の切れた場合は評価するかどうか、事務局の考えを教えてください。
事務局	一度でも資格を有していれば、能力は証明されているので、評価に値すると考えます。
C委員	それは、どのような理由で資格を失ったのか客観的には分かりません。また、そのような基準であれば、過去の資格を記載した事業者もいる可能性もあり、客観性に欠けるため、点数を与えることは出来ないと考えます。
事務局	そのような考えで客観的に採点します。
C委員	見積額の評価について、事務局の考えを教えてください。プロポーザル方式のため、提示した価格で最大限の内容を提案していただきたい。750万円の区分を満点とする

	理由もないため、上限を満点としてはいかがでしょうか。
事務局	上限である 800 万円から 50 万円単位で 4 点ずつ分けています。750 万円を 20 点満点、あとは前後単位毎に 4 点下げています。満点をどの価格帯とするかは判断の余地があるため、委員ご指摘のとおり修正します。
委員長	他に意見はございますか。
	意見なし
委員長	委員から承認 5 名、否認 0 名の意思表示があったため、審議事項 1 については了承します。
2 第一次審査の採点及び結果について	
委員長	事務局より各委員の採点を集計した結果をお知らせください。
事務局	第一次審査結果は次のとおりです。満点は 1000 点となります。A 事業者 783 点、B 事業者 707 点、C 事業者 816 点です。
委員長	採点は、5 段階評価のうえ、配分に応じて係数を乗じる旨を依頼しておりましたが、周知が不足していたようです。書面開催で再採点の時間的余裕もないため、自由採点での評価とし、いただいた採点での集計としますが、よろしいでしょうか。
	異議なし
委員長	それでは、事務局の発表のとおりで確定とします。
3 各委員講評について	
委員長	事務局より説明された採点結果について、各委員より講評をお願いします。まずは、A 事業者についてお願いします。
A 委員	本業務を共同事業体で請け負い、ヒアリングやフロー図等の作成も外注することとしているが、それぞれの専門性が活かされる反面、区側との調整において、各事業者間の連携が十分にとれるか不安があります。提案書全体を通して、資料を分かりやすく伝えるという視点が不足しているように感じました。
B 委員	相談の現状と課題が明確に示されており、相談事例も具体性があります。業務フローがやや事務処理基準のようであり、相談や地域連携等の複雑な相談プロセスをどう反映させるのかと思いました。
D 委員	相談事例が具体的で、障害者の保護者の高齢化など、現在区が課題としていることが挙げられています。業務手順書、フロー図は作成例のように福祉分野を当てはめるとどうなるのかが分かりにくいです。
E 委員	特色は共同事業体での応募で、港区の経験もあり外注の活用等を含め自信がみられます。福祉総合窓口が必要とされる背景や国の動向を踏まえ、複合的な事例もわかりやすく、求められる機能等よく把握しています。手順書、フロー図はどこまでできるのか、スケジュールは大まかな印象を受けました。
C 委員	業務計画については、共同提案体制に優位性があるかは不明だが、区の組織に詳しい点、BPR の実務に知見のある人材の配置など提案が具体的です。外注の活用提案は、蓋然性も認められ好印象を持ちました。人員の確保についても自信が感じられ頼もしいです。相談事例については、今日的な背景を的確に捉え、また、想定のカースも十分区の課題を踏まえていると感じました。加えて、他機関からの通報など、多角的な視点を述べている点を評価します。手順書については、業務一覧の整理、手順、フロ

	<p>一の必要性を記述しています。フロー図はそれなりにできています。手順書においてコスト意識の必要性を述べているが、行政としてもこれからは必要な視点かもしれません。スケジュールについては、かなりアバウトな印象です。今後詳細を区と協議するとしているが、業務量の想定なども現段階で測り切れていない印象があります。これを正直と見るか力不足と見るか難しいです。</p>
委員長	<p>次に、B事業者についてお願いします。</p>
A委員	<p>業務体制について、様々な分野の調査検討や計画策定に従事した経験を持つ担当者を配置しているものの、福祉分野に精通した担当者がおらず、不安があります。一方、業務手順書の様式は、来庁、電話、メールなどさまざまな手段での相談を想定しており、実用的で分かりやすい提案でした。</p>
B委員	<p>メールやFAXでの受付例が3社中唯一例示されていました。相談事例自体はよくある相談がまとめられていますが、展開の方向性が不明確です。</p>
D委員	<p>事例は一般的な例が多かったが、福祉総合窓口の相談事例とならないものも入っていました。ヒアリングシートは、システムでわかる情報の記載が多く、相談内容の記入欄が空欄なので、すべて記載となると記録に時間がかかります。</p>
E委員	<p>様々な事例が羅列されていたが、取り組み方にも踏み込んでほしいと思いました。ヒアリングシートをどう活用するのか、フロー図もなく、各分野の連携説明が不十分です。全体的に福祉総合窓口の観点があるのでしょうか。</p>
C委員	<p>業務計画については、人員の配置の考え方について、具体性が感じられません。作業工程については平均的な印象です。相談事例は、十分実情を把握した事例の想定であるが、そこまでという印象です。手順書は、もっと全体的な視点で、手順とフローをまとめてほしいです。課題で求めている内容ではないように感じました。スケジュールは淡々としたイメージで、自信の表れなのか、業務に対する困難性が感じられない。記述内容はわかりやすいです。</p>
委員長	<p>最後に、C事業者についてお願いします。</p>
A委員	<p>業務体制について、高齢、障害、子どもなど福祉のさまざまな分野や各管理部門の専門スタッフを配置する計画となっており、各専門分野の知見を生かすことができる体制である。また、福祉総合窓口での相談事例や業務手順書の様式の提案について、対処例や留意事項なども含めて、具体的にわかりやすく示されており、全体をとおしてバランスのとれた提案内容といえます。</p>
B委員	<p>相談事例が介護ベースの相談事例が多くやや偏りがある印象を受けました。しかし、個人情報保護の観点の提案が3社中唯一ありました。また、直感的にわかりやすい業務フロー図であり、これまでのノウハウが活きていると感じました。</p>
D委員	<p>業務計画はわかりやすく実行可能な内容と思います。相談事例について、事例1は、ケアマネージャーが分かっている事なので、相談はなく申請がある事例であり、事例2は、糖尿病で、障害者手帳の取得はできないなど、内容があいまいで対処例とつながっていないと感じました。</p>
E委員	<p>業務効率化やリスク対策の記載がありました。事例は現在も対応しており、多角的な視点から新たな事例を提案してほしいと思いました。個人情報保護の取組を評価します。手順、フロー図の考え方もわかりやすいです。スケジュールは具体的で、関係部</p>

	署との打合せの記載がある点は評価します。
C委員	業務計画について、工程表と担当者を組み合わせた一覧表は大変見やすいです。しかし、各担当者が、何をもって実務経験が豊富であるのか、コンプライアンス担当等どのようなスキルをもって担当としているのか記述が弱いです。相談事例は、具体的な事例に加え、対処法や結果想定まで大変わかりやすい資料です。手順書は、業務一覧の考え方、手順書、フロー図とも大変わかりやすい作りで、応用域がかなり広いと感じました。スケジュールは、緻密なスケジュールの提案です。リスク、対応策の洗い出し、所管課との調整事項の一覧化など、区のパートナーとして十分力を発揮することが期待できます。
委員長	講評は終わりました。選考委員会として、各事業者を第一次審査の通過者とし、第二次審査の対象としてよろしいでしょうか。
	—異議なし—
委員長	それでは、各事業者を第一次審査通過者とし、第二次審査の対象とします。
4 第二次審査票及びスケジュールについて	
委員長	資料5第二次審査票及び資料6第二次審査スケジュール（案）について、意見はございますか。
	意見なし
委員長	委員から承認5名、否認0名の意思表示があったため、審議事項4については了承します。
事務局	次回、令和2年7月27日（月）午後1時30分より、第二次審査を参集して実施します。